

早明浦ダム再生事業環境モニタリング委員会 第４回委員会

環境モニタリング結果

令和７年９月４日

独立行政法人水資源機構
吉野川上流総合管理所
早明浦ダム再生事業推進室

早明浦ダム再生事業における環境モニタリングの概要

環境区分	工事中の環境監視計画	環境巡視による保全措置の確認調査計画※
大気質（粉じん）	粉じん 1回/月（降下ばいじん濃度計測）	① 散水状況 ② タイヤ洗浄の実施状況 ③ 建設機械等の効率的な稼働状況 その他：防じんネット設置状況
騒音・振動	騒音・振動レベル 10分間隔自動計測 （騒音・振動レベル）	① 低騒音型・低振動型建設機械の使用状況、 防音パネル、防音ネットの設置状況 ② 建設機械等の効率的な稼働状況。 その他：資機材等の運搬状況
水質	SS、pH ・濁水処理装置内で水質を自動計測 ・自動計測、定期調査	その他：濁水処理装置の稼働状況
動物・生態系	希少猛禽類：定点観測法	③ 森林伐採における配慮状況 ④ 夜間照明の設置状況 ⑤ 周辺環境の攪乱に対する配慮状況
植物	生育状況確認：・年1回程度 ・残存する植物の生育状況確認 ・外来種の侵入状況記録	① 移植した植物の生育状況の確認 ② 外来種の対策状況 ③ 周辺環境の攪乱に対する配慮状況
人と自然との触れ合いの活動の場	インフラツーリズムの開催	

※上記の実施状況については、環境巡視において確認する。

①大気質

■降下ばいじん測定結果

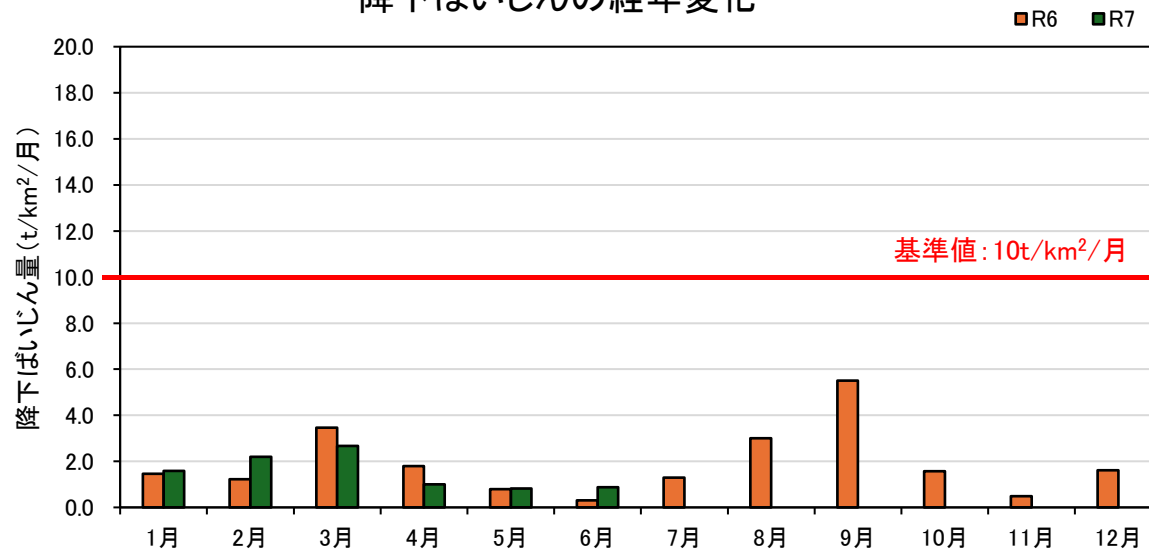
- ・降下ばいじんは、2024年（令和6年）1月より、月1回計測している。
- ・工事中の降下ばいじん量は、0.3～5.5t/km²/月で推移しており、基準値を満足している。

【基準値】10t/km²/月

【参考】

- ・生活環境を保全する上での「降下ばいじんの寄与量」の目安（スパイクタイヤ粉じんの発生防止に関する法律の施行について（平成2年環大自第84号）：20t/km²/月）から、降下ばいじん量の比較的高い地域の値（10t/km²/月）を引いた値（10t/km²/月）が管理上の目安となる。

降下ばいじんの経年変化



地点1:濁水プラント前の降下ばいじん測定結果(2024年1月～2025年6月)

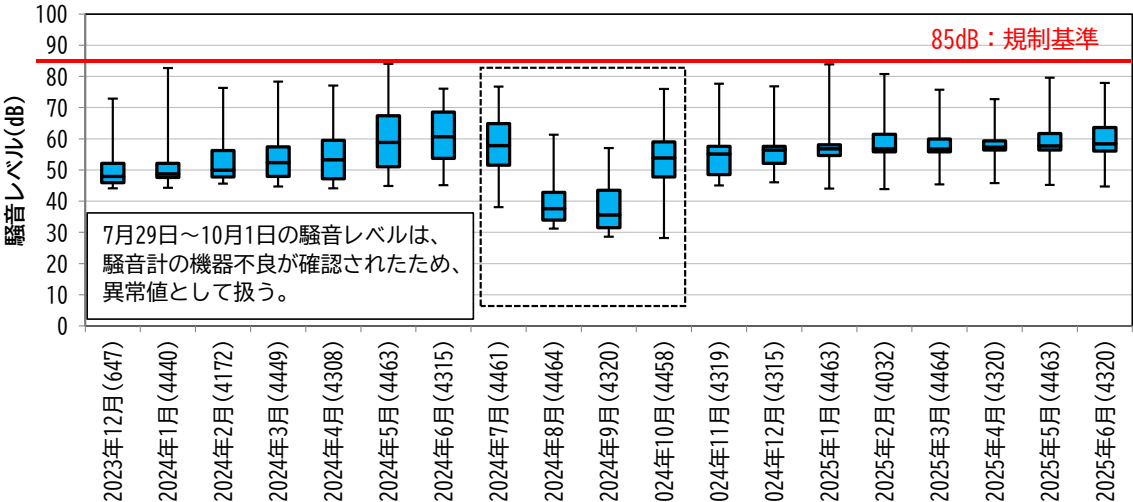


②騒音

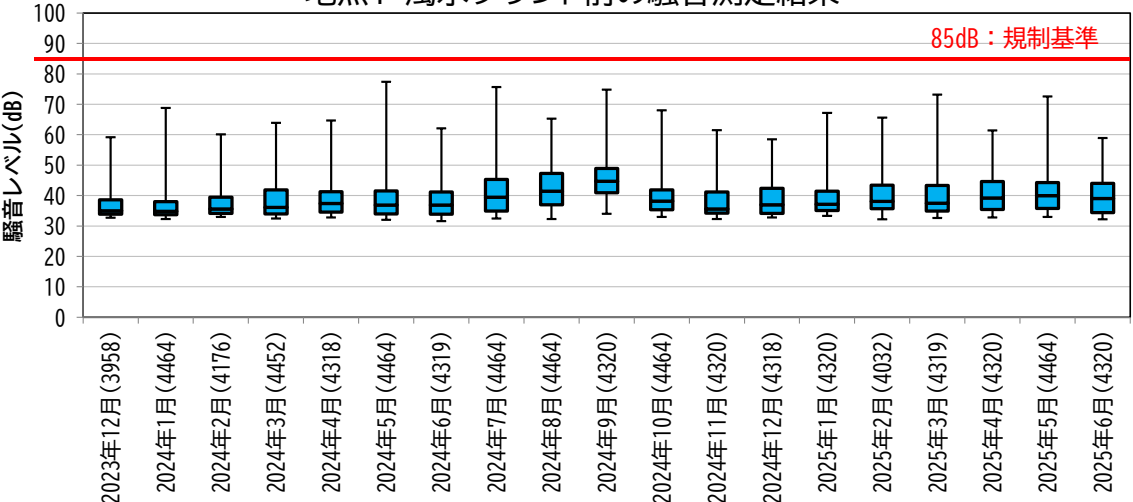
■騒音測定結果：時間率騒音レベル

- ・ 工事中の騒音測定の結果、中央値は地点1で35～61dB程度、地点2で34～45dB程度で推移している。
- ・ これまでの調査において、建設機械の稼働に係る規制基準85dBを超える騒音は観測されていない。

【規制基準】 「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」 に基づく規制基準：85dB 以下



地点1：濁水プラント前の騒音測定結果注)



地点2：吉野公園の騒音測定結果注)

注) 工事以外の影響と考えられる騒音レベルは、異常値として除外した。

※括弧内の数字は観測回数を示す。

※括弧内の数字は観測回数を示す。



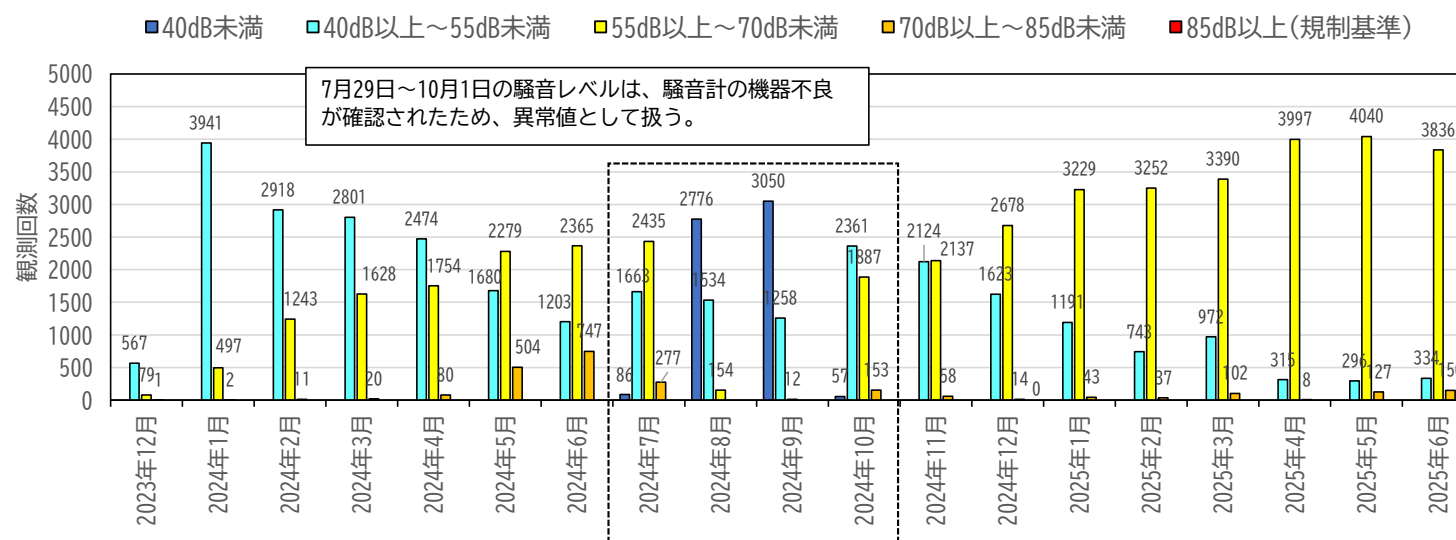
②騒音

騒音測定結果：時間率騒音レベルごとの観測回数

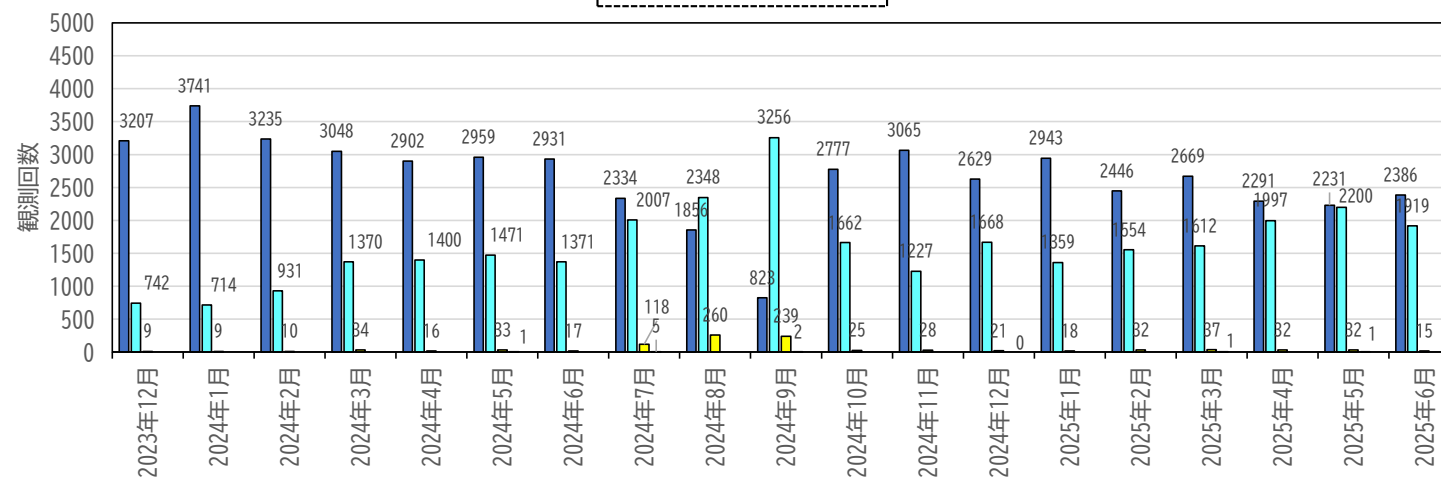
- 地点1では2024年10月以降、55dB以上～70dB未満の観測回数に増加の傾向がみられるものの、70dB以上の観測回数は少ない。地点2では55dB未満の観測回数が多く、地点1と比較して騒音レベルは低い。
- これまでの調査において、建設機械の稼働に係る規制基準85dBを超える騒音は観測されていない。

【規制基準】「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に基づく規制基準：85dB 以下

地点1：
濁水プラント前における
10分間隔の時間率騒音レ
ベルごとの観測回数^注



地点2：
吉野公園における10分間
隔の時間率騒音レベルご
との観測回数^注



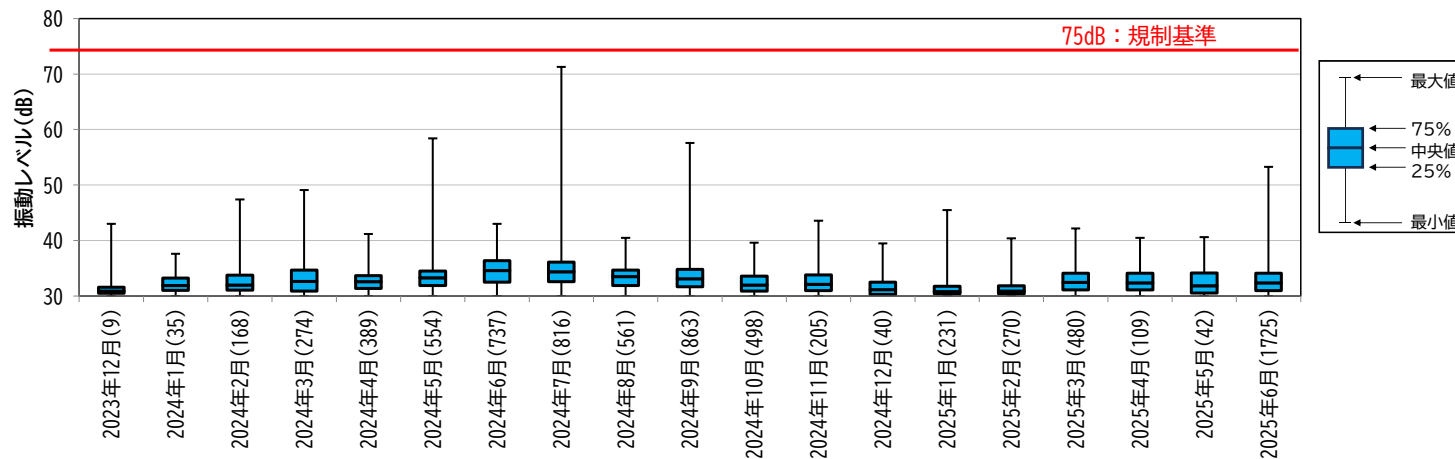
注)工事以外の影響と考えられる騒音レベルは、異常値として除外した。

③振動

■振動測定結果：時間率振動レベル

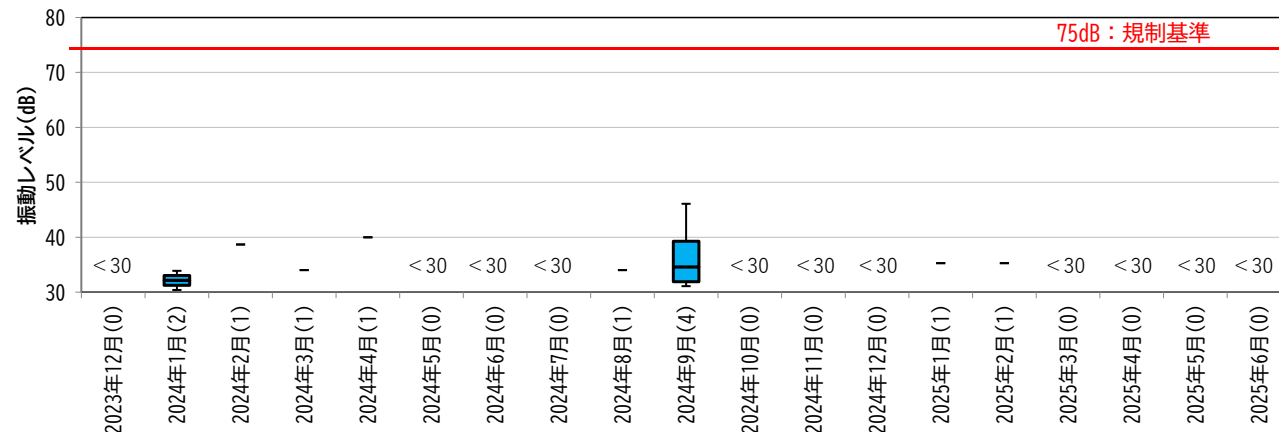
- ・振動は、振動レベル計の計測下限値（30dB）以上の結果のみを整理した。
- ・これまでの調査では特定建設作業の規制に関する基準75dBを超える振動は観測されていない。

【規制基準】 振動規制法施行規則による特定建設作業の規制に関する基準：75dB 以下



注) 振動レベル30dB未満を除く。括弧内の数字は30dB以上の観測回数。

地点1：濁水プラント前の振動測定結果



注) 振動レベル30dB未満を除く。括弧内の数字は30dB以上の観測回数。

地点2：吉野公園の振動測定結果



振動測定位置図

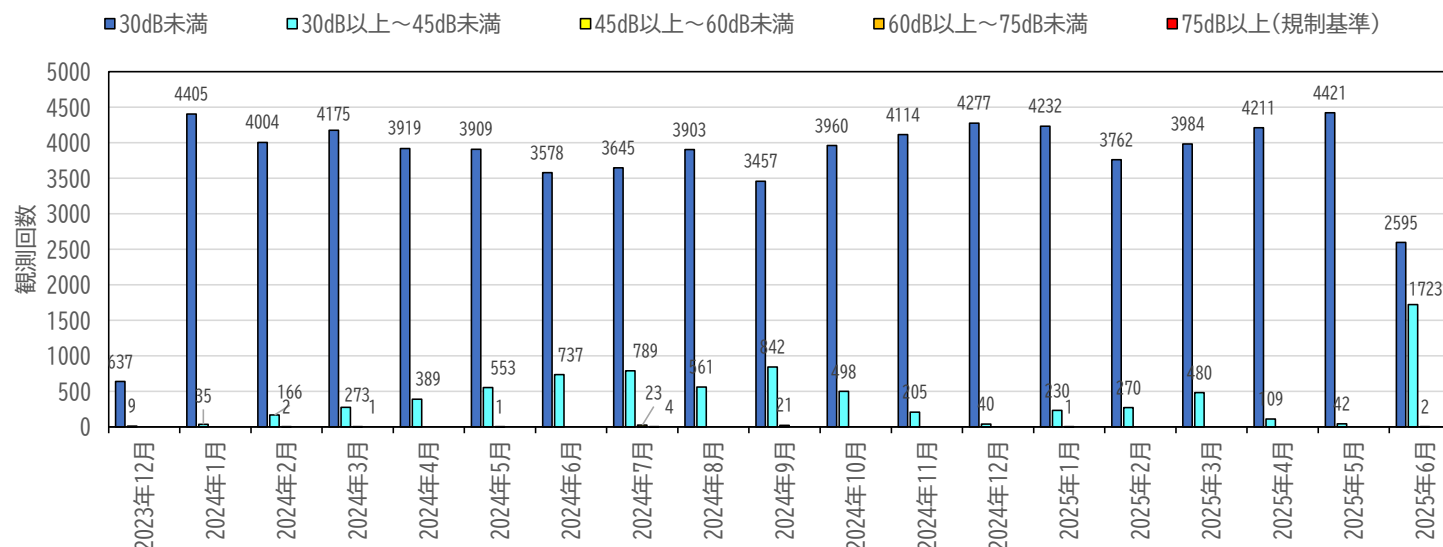
③振動

■振動測定結果：時間率振動レベルごとの観測回数

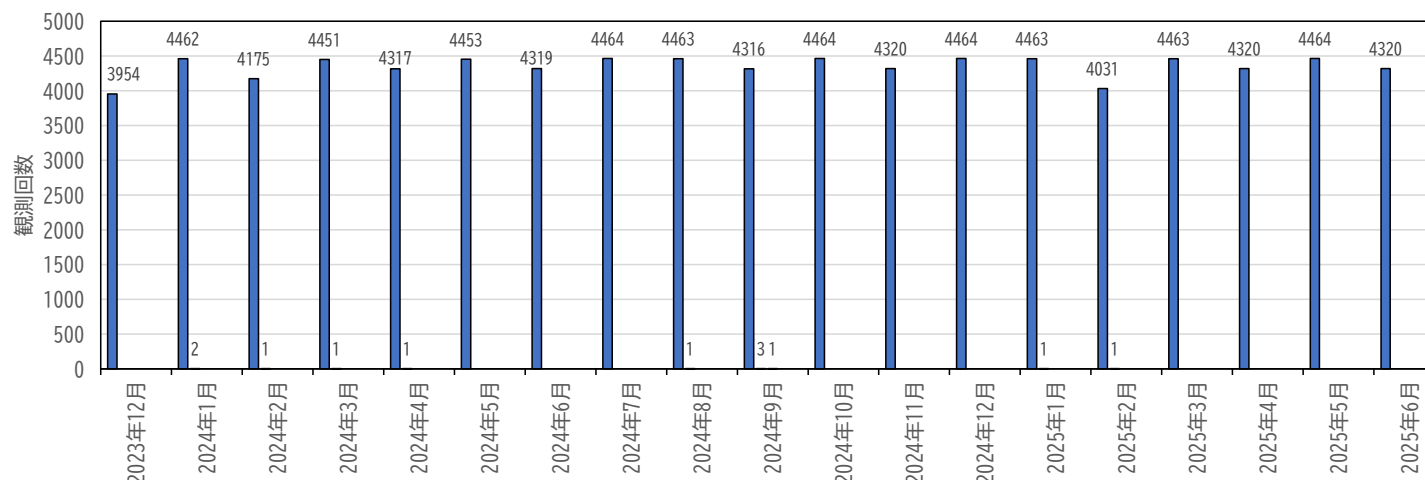
- ・振動測定の結果、ほとんどの時間で振動レベルは30dB未満であった。
- ・これまでの調査では特定建設作業の規制に関する基準75dBを超える振動は観測されていない。

【規制基準】 振動規制法施行規則による特定建設作業の規制に関する基準：75dB 以下

地点1：
濁水プラント前における
10分間隔の時間率振動レ
ベルごとの観測回数



地点2：
吉野公園における10分間
隔の時間率振動レベルご
との観測回数

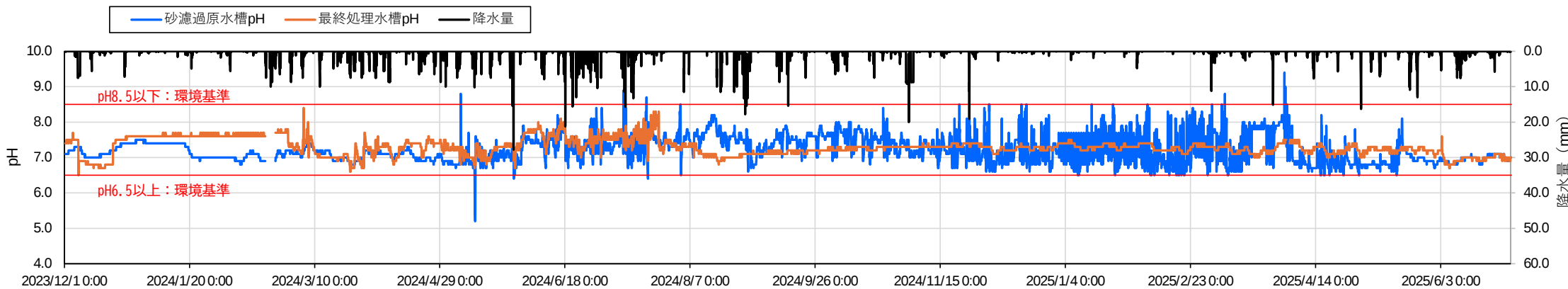


④水質

■濁水処理設備における水質測定結果（pH）

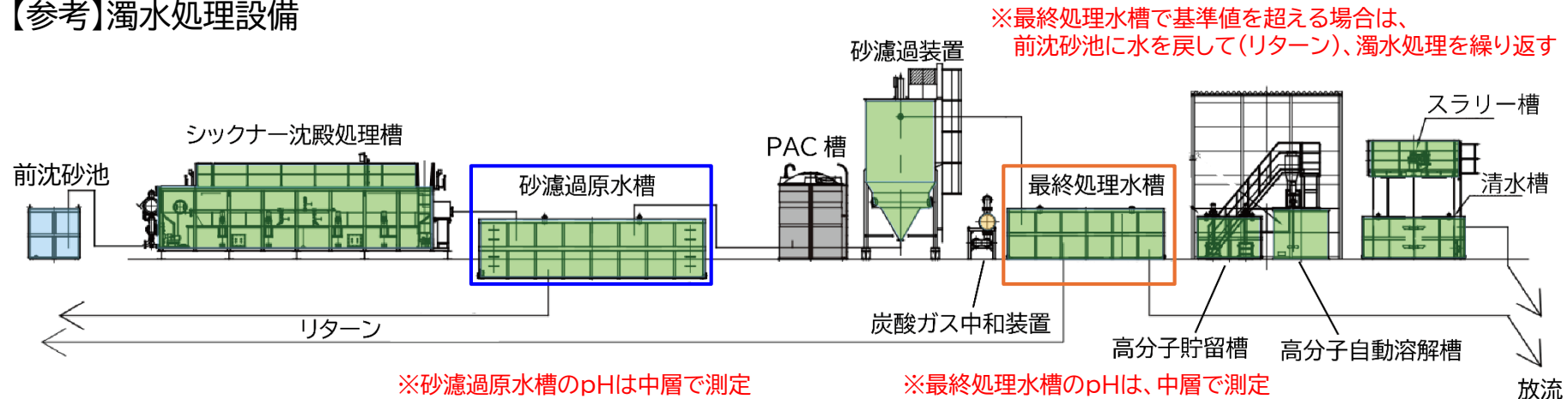
- 砂濾過原水槽のpHは、一時的に8.5を超えるケースもあったが、最終処理水槽のpHは環境基準の範囲内である6.5～8.5の間で推移している。

【環境基準】 pH6.5以上8.5以下(吉野川上流：河川AA類型)



濁水処理設備における水質測定結果(pH)

【参考】濁水処理設備

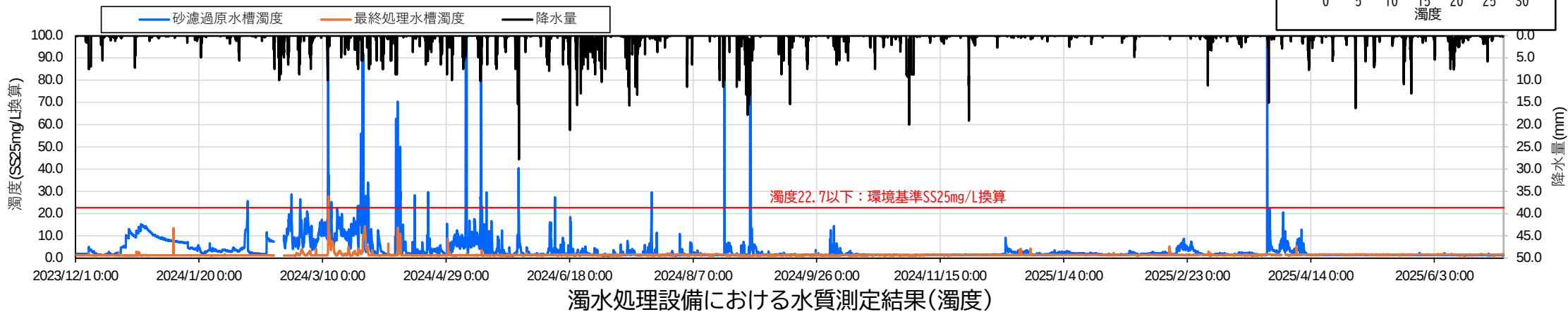
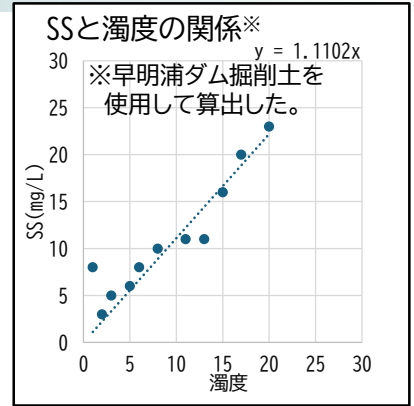


④水質

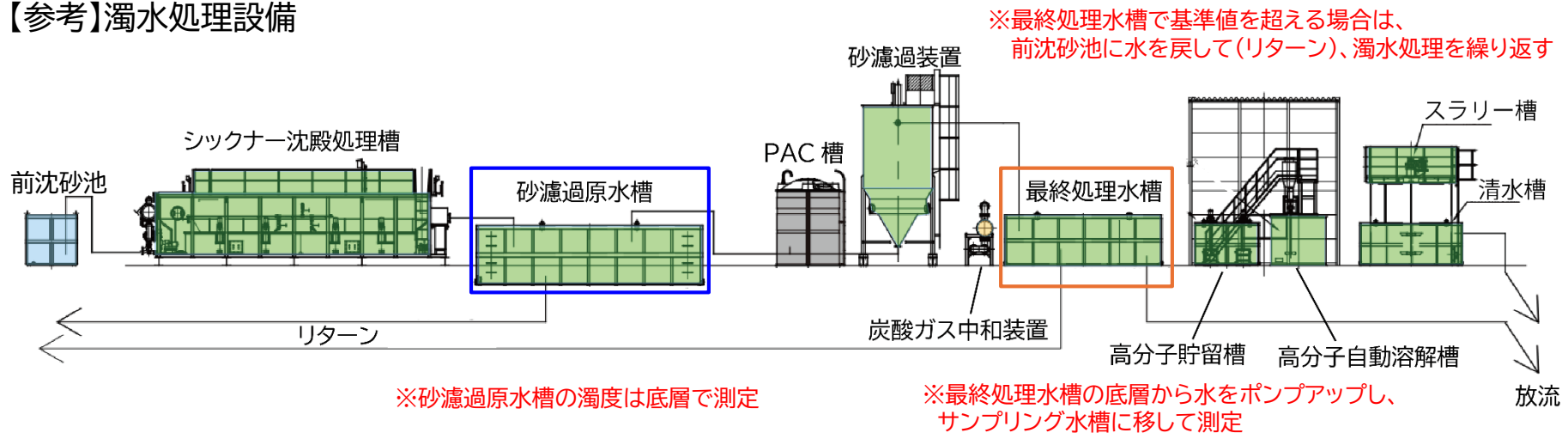
■濁水処理設備における水質測定結果（濁度）

- 砂濾過原水槽内の濁度は、一時的に環境基準を超過するケースもあったが、最終処理水槽の濁度は、ほぼ環境基準以下で推移している。

【環境基準】SS 25mg/L以下(吉野川上流：河川AA類型)



【参考】濁水処理設備



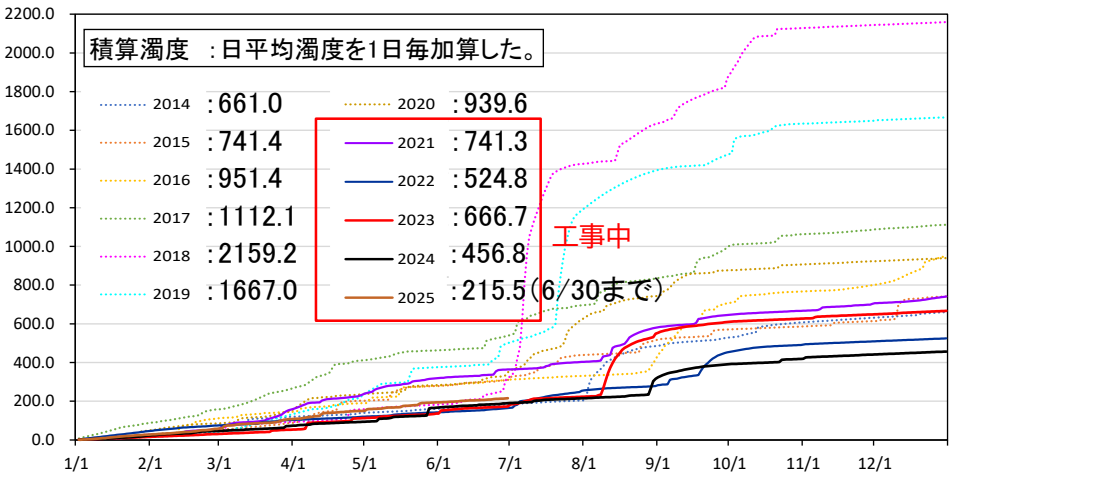
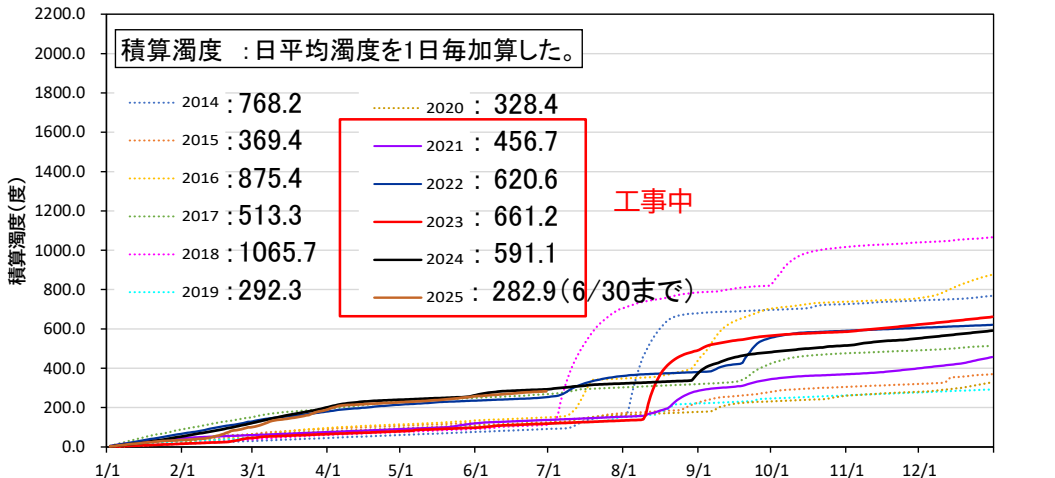
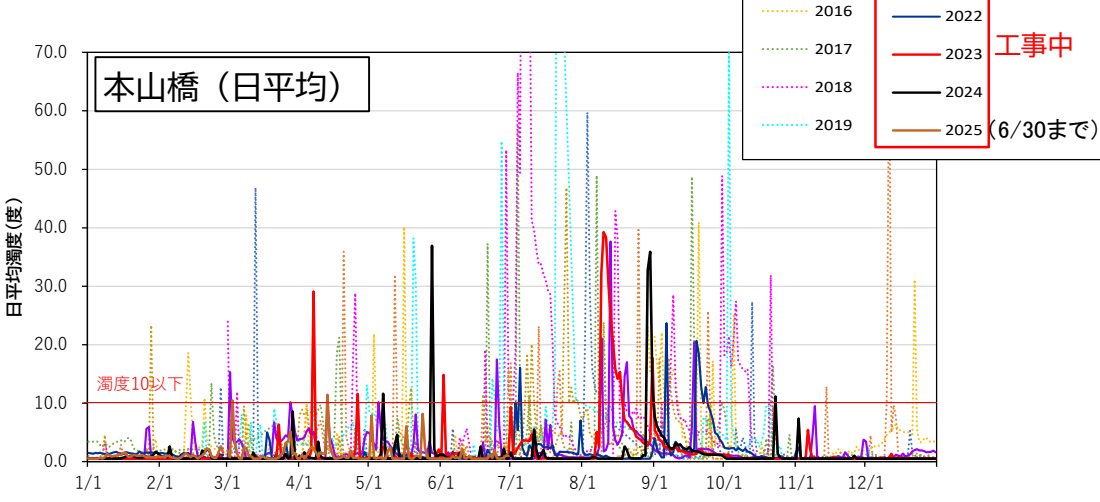
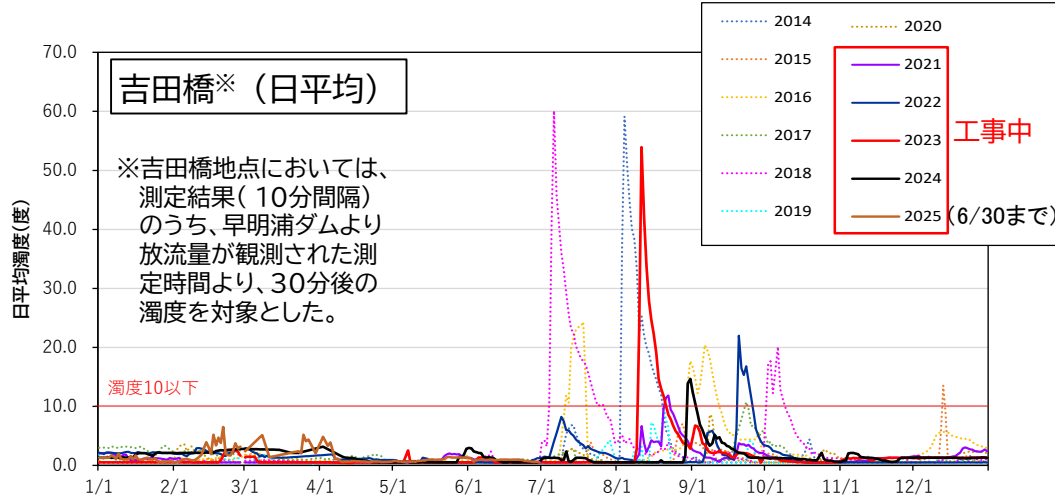
④水質

■下流河川における濁度測定結果（資料-2より再掲）

- 2021年より工事用道路工事、2023年より下流部工事等が開始された。
- 吉田橋の2021～2024年の積算濁度は、工事前の期間（2014～2020年）でみられた値の範囲内であった。2023年8月に高い濁度がみられる期間があったものの、台風6号（8/7～8/10）及び台風7号（8/14～8/15）接近に伴う降水の影響と考えられる。



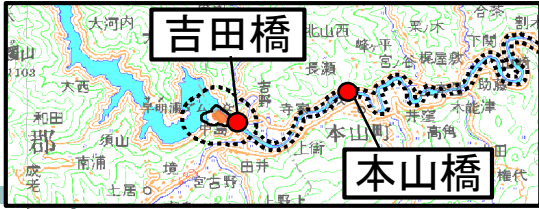
■吉田橋、本山橋の濁度(日平均)及び積算濁度



注) 積算濁度は、日平均濁度を1日毎に加算した。積算濁度の計算のため、日平均値で欠測となる日は、前後の値から補間した。

注) 測定結果(10分間隔)から、日平均濁度を集計した。その際、濁度が20以上で、時間当たりの降水量が0mmかつ連続して観測されていない場合は、異常値として集計対象外とした。

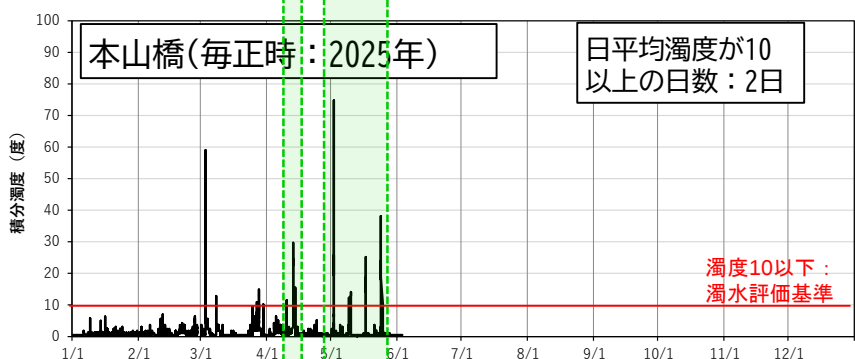
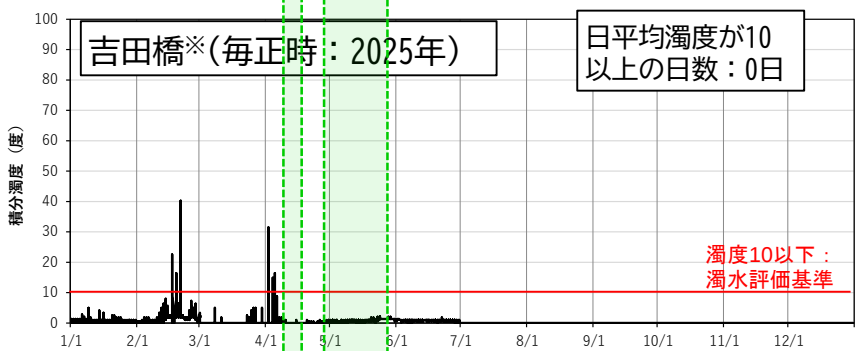
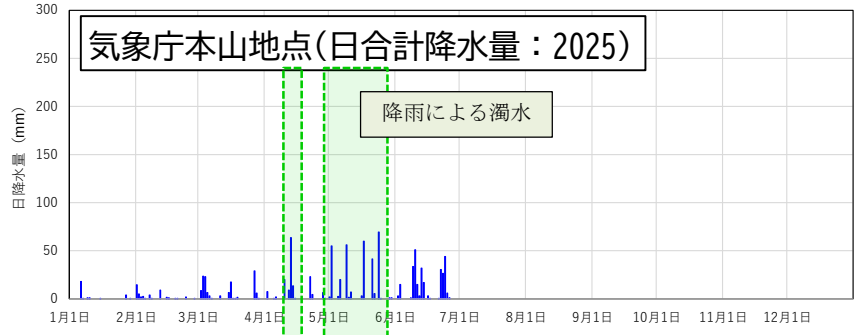
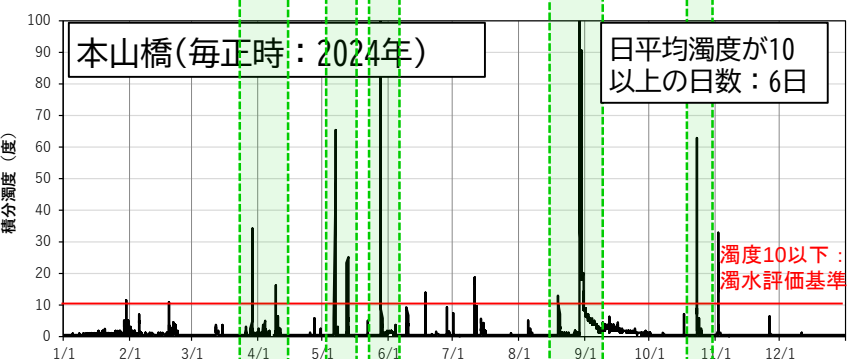
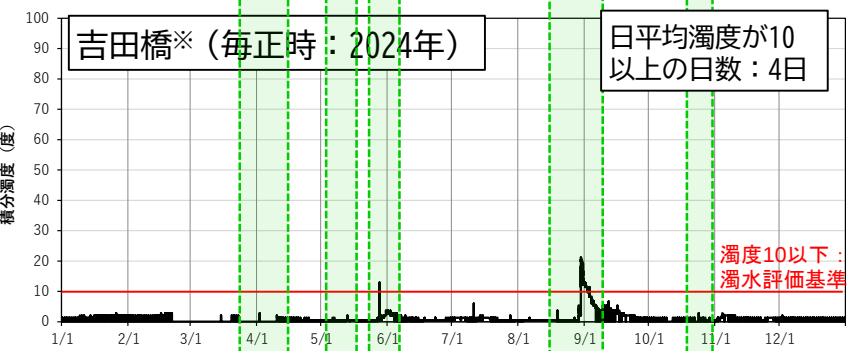
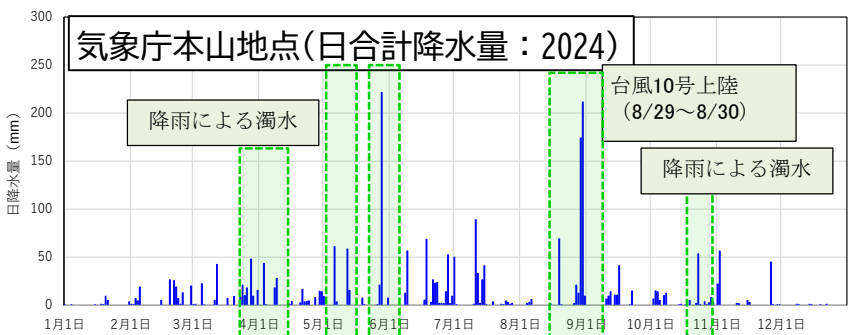
④水質



下流河川における濁度測定結果（2024年、2025年）

- 2024年の吉田橋では、降雨時に濁度が一時的に高くなるものの、工事が要因と考えられる継続的な濁水の発生はみられなかった。
- 2025年2～4月では、降水量は少ないものの、濁度が10以上となる値もみられた。

工事の実施(土砂による水の濁り)による水質予測結果
【早明浦ダムにおける濁水評価基準】濁度 10以上の日数
吉田橋:年平均で17日から19日に増加
本山橋:ほとんど濁度の上昇はみられない



※吉田橋地点においては、測定結果(10分間隔)のうち、全放流量が観測された測定時間より、30分後の濁度を対象とした。

注)測定結果(10分間隔)のうち、濁度が20以上で、時間当たりの降水量が0mmかつ連続して高い濁度が観測されていない場合は、異常値として集計対象外とした。

2024年の降水量(日合計)と吉田橋、本山橋の濁度(自動計測:毎正時)

2025年の降水量(日合計)と吉田橋、本山橋の濁度(自動計測:毎正時)

④水質

■下流河川における工事の状況

- 2024年11月より下流仮締切の設置を開始（令和6年11月26日～令和7年6月10日）

■施工方法

- 鋼管矢板

鋼管矢板(φ1000 L=17.5m t=17mm)を、拡径式ダウンザホールハンマを使用し打設した。

- 二重締切

ダム直下流の河川敷部において、鋼製型枠を用いた二重締切の設置する。二重締切内は、現地発生土砂を用いて二重締切内を中詰めし、天端は厚さ10cmの保護コンクリートを打設した。



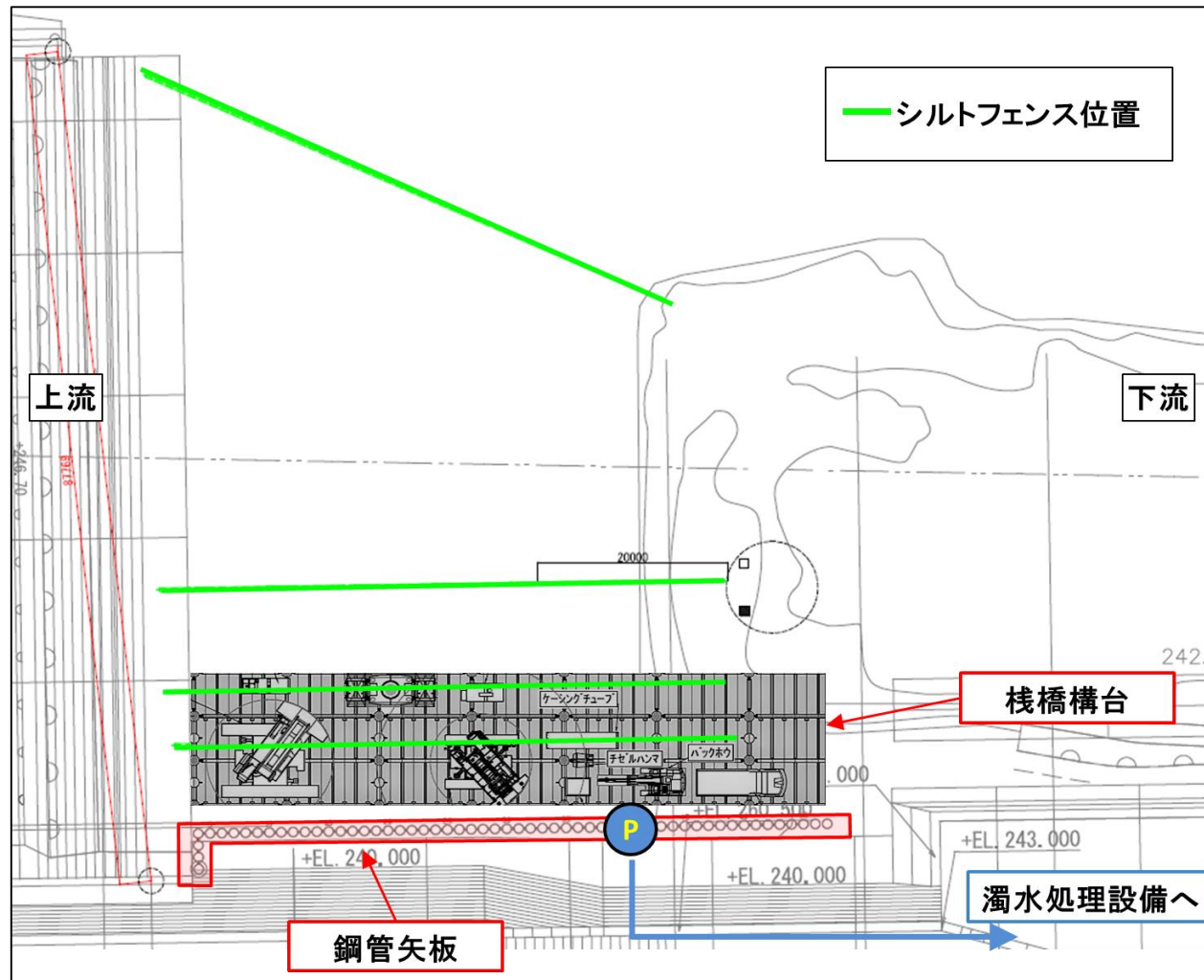
※鋼管矢板の施工は一部河川内で実施

④水質

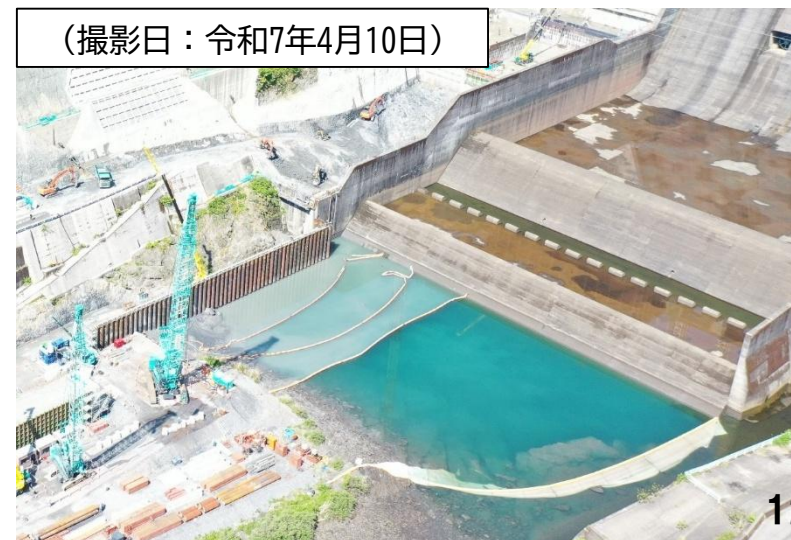
■下流河川における汚濁防止対策

下流河川への汚濁防止対策として、鋼管矢板打設箇所および栈橋構台の外周にシルトフェンスを設置。
※シルトフェンスは鋼管矢板の作業進捗に合わせ適宜移設・増設を実施した。

【シルトフェンス設置状況】



シルトフェンス設置位置図（最終形状）



⑤希少猛禽類—調査手法—

■調査内容

調査目的	・事業実施区域周辺で繁殖が確認されている希少猛禽類(ミサゴ、オオタカ、クマタカ及びノスリ)を主対象とし、繁殖状況、営巣地の移動(工事箇所へ近づく移動に留意)、工事に対する忌避行動の有無等を把握し、工事影響について整理する。
調査範囲	・事業実施区域の境界から3kmの範囲
調査方法	①定点観測法 ・3日間連続／回、日中8時間程度、2地点／日 ・11～4月(計6回) ・猛禽類の出現状況に応じて移動観察を併用。 ②営巣状況の確認調査 ※ ・営巣地付近の定点観測法による調査を行い、各つがいの営巣状況を判断する。 ・1日間／回、日中8時間程度、2地点／日 ・6～7月(1回) ・猛禽類の出現状況に応じて移動観察を併用。

注)
※ 昨期と同様に営巣地調査を実施する予定であったが、委員アドバイス「本繁殖期の今後の調査として、オオタカ及びクマタカの既知の巣における営巣可能性が極めて低いことから、営巣地調査は巣を踏査する調査ではなく、営巣地周辺を含めた範囲における営巣状況を確認する調査として、6～7月に、1回、定点調査を実施することが望ましい(2025.6.4)」を踏まえ、営巣状況の確認調査を実施した。

■調査時期

調査項目	2024年		2025年						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
定点観測法	26-28日	17-19日	21-23日	18-20日	18-20日	15-17日			
営巣状況の確認調査									4日

図面非公表
注)上記の他 2025.6及び各調査時期に補足調査を実施した。



⑤希少猛禽類—確認種—

・主要な調査対象種(ミサゴ・オオタカ・クマタカ・ノスリ)のほか、ハチクマ、ツミ、ハイタカ、サシバ及びハヤブサのあわせて9種を確認。
・昨期までに営巣が確認されているミサゴ・オオタカ・クマタカを除く6種については、事業実施区域周辺における営巣可能性は確認されず。

猛禽類・確認種一覧表

No.	目名	科名	種名	渡り区分 ※2	調査時期別の確認回数※1																	一般的な 繁殖時期 ※3	種の貴重性※4							
					2024年				2025年												合計(調査区分別)		合計(生活史別)		総計	① 天然 記念物	② 種の保 存法	③ 環境省 RL	④ 高知県 RL	
					11月		12月		1月		2月		3月		4月		6月	7月		規定調査	自主 追加調査		繁殖期	非 繁殖期						
					定点観測法 1回目		定点観測法 2回目		定点観測法 3回目		定点観測法 4回目		定点観測法 5回目		定点観測法 6回目		-	営巣状況の 確認調査												
					規定調査	補足調査	規定調査	補足調査	規定調査	補足調査	規定調査	補足調査	規定調査	補足調査	規定調査	補足調査	補足調査	規定調査	補足調査											
					26-28日	25,29日	17-19日	16,19日	21-23日	20-21日	18-20日	17,21日	18-20日	17,21日	15-17日	14,17日	3日	4日	3日											
1	タカ	ミサゴ	ミサゴ	留鳥	13回 (5回)	6回	12回 (4回)	1回	15回 (6回)	3回	25回 (18回)	4回 (1回)	36回 (25回)	4回 (4回)	30回 (21回)	4回 (3回)	5回 (5回)	3回 (3回)	7回 (7回)	134回 (82回)	34回 (20回)	118回 (87回)	50回 (15回)	168回 (102回)	2～7月			NT	CR+EN	
2	タカ	ハチクマ	夏鳥														1回	4回	3回	4回 (0回)	4回 (0回)	8回 (0回)	0回 (0回)	8回 (0回)	5～8月			NT	EN	
3		ツミ	留鳥											1回 (1回)						0回 (0回)	1回 (1回)	1回 (1回)	0回 (0回)	1回 (1回)	3～7月				NT	
4		ハイタカ	冬鳥	6回 (2回)		3回		5回	2回	1回	1回		1回	1回	1回					16回 (2回)	5回 (0回)	3回 (0回)	18回 (2回)	21回 (2回)	3～8月			NT	VU	
5		オオタカ	冬鳥又は留鳥	10回 (4回)				5回 (1回)													15回 (5回)	0回 (0回)	5回 (1回)	10回 (4回)	15回 (5回)	1～7月			NT	CR+EN
6		サシバ	夏鳥											12回 (1回)	4回		4回 (2回)	1回		16回 (3回)	5回 (0回)	9回 (2回)	12回 (1回)	21回 (3回)	4～7月			VU	VU	
7		ノスリ	冬鳥	2回 (1回)	2回	18回 (7回)	1回	21回	5回	8回	4回 (1回)	1回	2回	1回							51回 (8回)	14回 (1回)	16回 (1回)	49回 (8回)	65回 (9回)	2～8月				VU
8	クマタカ		留鳥		12回 (5回)	2回 (3回)	4回 (9回)	17回 (2回)	4回 (2回)	2回 (2回)	5回 (2回)	16回 (10回)	4回 (2回)	3回	1回		3回 (2回)			43回 (23回)	30回 (14回)	73回 (37回)	0回 (0回)	73回 (37回)	通年		国内	EN	CR+EN	
9	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	留鳥	1回		1回				1回				1回 (1回)					4回 (1回)	0回 (0回)	2回 (1回)	2回 (0回)	4回 (1回)	2～7月		国内	VU	CR+EN	

注) ※1.規定調査はモニタリング調査計画(第2回委員会にて策定)を踏まえた昨期と同じ調査内容を、補足調査は規定調査以外の追加調査を示す。
ピンクの枠は繁殖期を、水色の枠は非繁殖期を示す。(青色の回数)は、繁殖行動を含む確認回数を示す。

- ※2.渡り区分は、「四国の野鳥(高知新聞社、平成7年)」を参考にした。
- ※3.繁殖時期は、「図鑑日本のワシタカ類」(文一総合出版、平成7年)を参考にした。
- ※4.種の貴重性の選定基準は以下のとおり。
- ①文化財保護法(昭和25年法律第214号)により地域を定めずに天然記念物に選定されている種
 - ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成5年4月施行)において希少野生動植物種に選定されている種
国内:国内希少野生動植物種
 - ③「環境省レッドリスト2020, 環境省報道発表資料(令和2年3月27日)」に記載されている種及び亜種
EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧
 - ④「〜高知県の絶滅のおそれのある野生動物〜高知県レッドリスト(動物編)2017改訂版」に記載されている種
CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧

⑤希少猛禽類—ミサゴの確認状況—

- ・昨期以前にも営巣活動を行っている3箇所の営巣地で繁殖した。営巣場所の確認状況調査においては、巣立ち後の幼鳥(巣2)や、巣立ち直前の雛(巣1)のほか、営巣活動の継続(巣3)を確認し、いずれの巣でも繁殖が順調に推移したことを確認。
- ・各巣における営巣活動、貯水池やダム下流河川での狩り行動のいずれについても、工事による忌避行動は確認されず。
- ・工事による影響はなかったと考えられる。

写真非公表

図面非公表

図面非公表

写真非公表

写真非公表

ミサゴの確認位置(2024.11~2025.7)

繁殖行動の確認位置

⑤希少猛禽類—オオタカの確認状況—

- ・2024.11・2025.1にのみ確認。2025.2以降(オオタカの求愛・造巢期以降)は確認されず、今期は繁殖しなかったと考えられる。
- ・工事による忌避行動は確認されず。
- ・営巣地の工事箇所付近への移動は確認されず。
- ・工事による影響はなかったと考えられる。

写真非公表

オオタカ成鳥雄
2024.11

写真非公表

オオタカ成鳥雌
2024.11

図面非公表

オオタカの確認位置(2024.11～2025.7)

図面非公表

繁殖行動の確認位置

⑤希少猛禽類—クマタカの確認状況—

- ・2024年11月に2024年生まれの幼鳥を確認し、昨年の繁殖期における繁殖成功を確認。
- ・今期も、営巣地を中心とした範囲で成鳥雌雄を確認した。
- ・工事による忌避行動は確認されず。
- ・営巣地の工事箇所付近への移動は確認されず。
- ・今期の営巣活動の継続を示唆する行動は確認されず。
- ・工事による影響はなかったと考えられる。



クマタカ幼鳥
2024.11



クマタカ成鳥
2025.1

図面非公表

図面非公表

クマタカの確認位置(2024.11～2025.7)

繁殖行動の確認位置

⑤希少猛禽類－対象つがいの繁殖状況のまとめ－

- ・工事中1年目(昨期:2023～2024年繁殖シーズン)は、ミサゴ1つがい及びクマタカ1つがいの繁殖成功を確認した。
- ・工事中2年目(今期:2024～2025年繁殖シーズン)は、ミサゴ3つがいの繁殖成功を確認した。
- ・オオタカ1つがいは、繁殖しなかったと考えられる。
- ・クマタカ1つがいは、繁殖していない可能性が考えられるが、幼鳥の行動が目立つようになる2025年11月以降にも営巣地付近で幼鳥の有無を確認することにより、今期の繁殖成功の有無を判断する。

		つがいの繁殖状況				
繁殖シーズン		繁殖状況※1 (工事による影響の有無)				
		ミサゴ			オオタカ	クマタカ
		Aつがい (巣2)	Bつがい (巣3)	Cつがい (巣1)	Aつがい	Aつがい
工事前	H30～R1 (2018～2019)	◎	－	/	×	×
工事中	R5～R6 (2023～2024)	◎ (工事影響はなかったと考えられる)	×		－	◎ (工事影響はなかったと考えられる)
	R6～R7 (2024～2025)	◎ (工事影響はなかったと考えられる)	◎ (工事影響はなかったと考えられる)		× 【繁殖しなかったと推定】 (工事影響はなかったと考えられる)	繁殖しなかった可能性がある 【R7.11～にも幼鳥の有無を確認予定】 (工事影響はなかったと考えられる)

注)
※1.繁殖状況の凡例は以下のとおり。
◎:繁殖成功(巣立ち又は巣内育雛期後期までの営巣継続)、×:繁殖成功せず、－:つがいを確認していない
斜線:調査対象外



⑤希少猛禽類－ノスリの確認状況－

- ・越冬期～繁殖期初期(2024.11～2025.4)に確認。[繁殖期後期\(2025.6～7\)には確認されず。](#)
- ・工事箇所付近における営巣可能性を示唆する繁殖行動は確認されず。[事業実施区域周辺では繁殖していない。](#)
- ・[工事による忌避行動は確認されず。](#)
- ・[工事による影響はなかったと考えられる。](#)

写真非公表

ノスリ
2025.2

図面非公表

図面非公表

写真非公表

ノスリ
2025.4

ノスリの確認位置(2024.11～2025.7)

繁殖行動の確認位置

⑤希少猛禽類—その他猛禽類の確認状況—

- ・ハチクマ、ツミ、ハイタカ、サシバ及びハヤブサの5種を確認。
- ・繁殖行動を確認した種もあるが、工事箇所付近における営巣可能性が考えられる種はいない。
- ・工事による忌避行動は確認されず、工事による影響はなかったと考えられる。

図面非公表

図面非公表

図面非公表

図面非公表

図面非公表

ハチクマの確認位置
(2024.11～2025.7)



ハチクマ
2025.7

サシバの確認位置



サシバ
2025.4

ハイタカの確認位置



ハイタカ
2025.1



ハヤブサ
2025.2

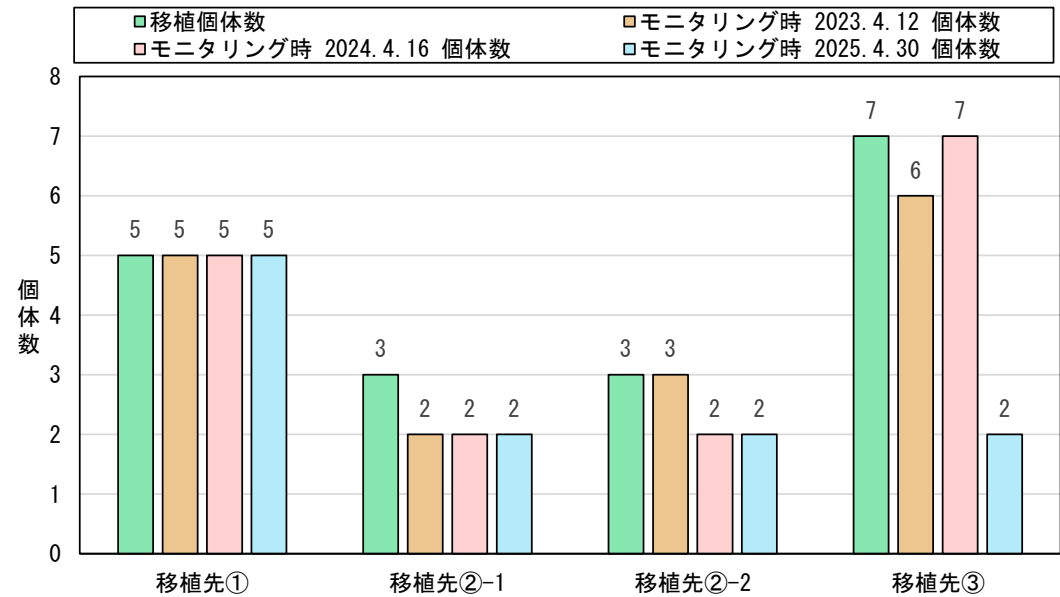
⑥植物ーユキモチソウの生育状況調査ー

■ユキモチソウ(移植株)のモニタリング調査

- ・2021年12月10日に移植したユキモチソウについて、開花期にモニタリングを実施した。
- ・2025年は移植した18個体のうち11個体の生育を確認した。
- ・すべての移植先で開花個体がみられた。

ユキモチソウ（移植株）のモニタリング結果

種名	移植先	移植時	モニタリング時											
		2021. 12. 10	2023. 4. 12				2024. 4. 16				2025. 4. 30			
		計	♀	♂	無性	計	♀	♂	無性	計	♀	♂	無性	計 生残率(%)
ユキモチソウ	移植先①	5	0	4	1	5	0	3	2	5	0	1	4	5 100.0
	移植先②-1	3	0	2	0	2	1	1	0	2	0	2	0	2 66.7
	移植先②-2	3	0	3	0	3	1	1	0	2	0	1	1	2 66.7
	移植先③	7	0	2	4	6	1	3	3	7	0	0	2	2 28.6
合計		18	0	11	5	16	3	8	5	16	0	4	7	11 61.1



ユキモチソウのモニタリング結果

移植先の生育状況 (2025.4.30～5.1)



⑥植物ーユキモチソウの生育状況調査ー

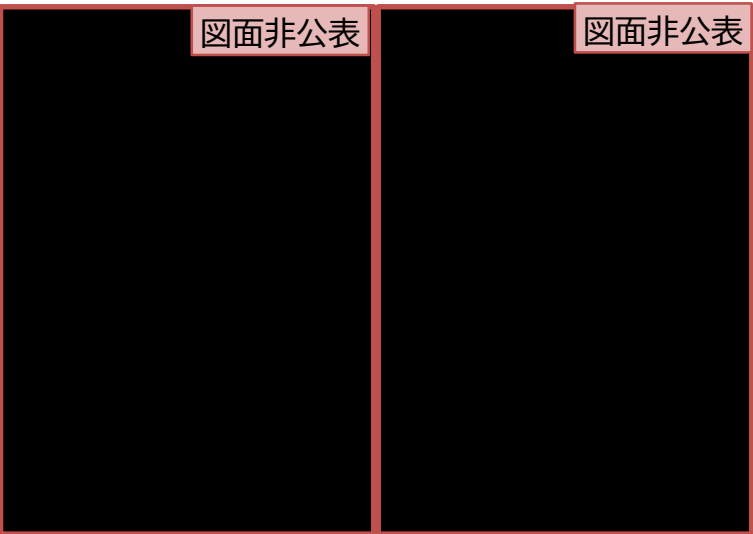
■ユキモチソウ（増殖個体）のモニタリング結果（資料-2より再掲）

- ・ 移植先①の周辺では、ユキモチソウの増殖株を合計12個体が確認した。このうち6個体が雄花で、1個体が雌花であった。
- ・ 移植先②の周辺では、増殖株を1個体（雄花）確認した。
- ・ 移植先③の周辺では、増殖株を6個体確認した。このうち2個体が雄花であった。

ユキモチソウ(増殖個体)のモニタリング結果

種名	地点	2025. 4. 30-5. 1			
		♀	♂	無性	計
ユキモチソウ	移植先①周辺	1	6	5	12
	移植先②周辺	0	1	0	1
	移植先③周辺	0	2	4	6
合計		1	9	9	19

注)移植株を除いた、ユキモチソウ(増殖個体)のみの株数を示す。



増殖個体の調査範囲

移植先周辺の生育状況（2025. 4. 30～5. 1）



移植先①周辺(雌株)



移植先②周辺(雄株)



移植先③周辺(無性株)



増殖個体の生育状況

⑥植物ーシランの生育状況調査ー

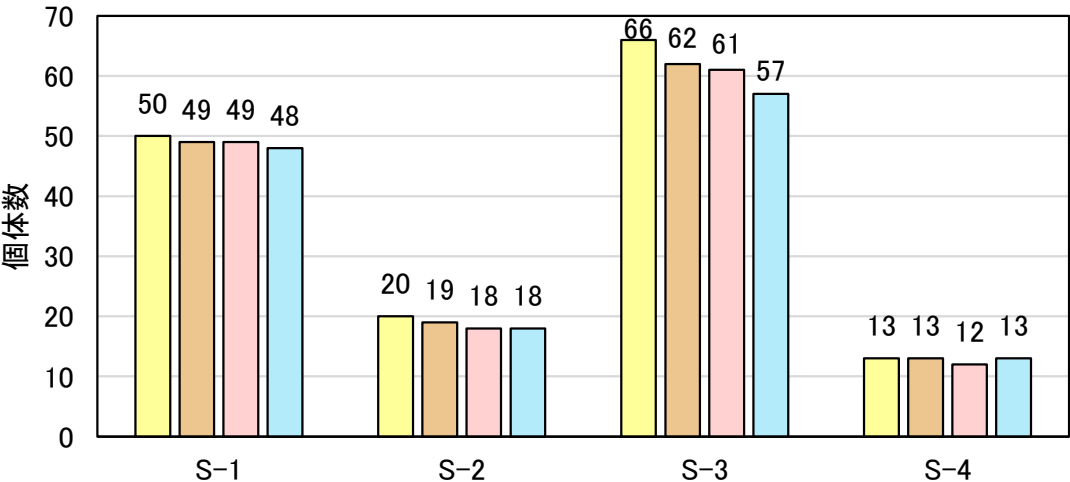
■シランのモニタリング調査

- ・ 2023年1月5日～6日に移植したシランについて2025年5月21日にモニタリングを実施した。
- ・ 全体で91.3%が出芽しており、またすべての移植先で開花個体がみられた。

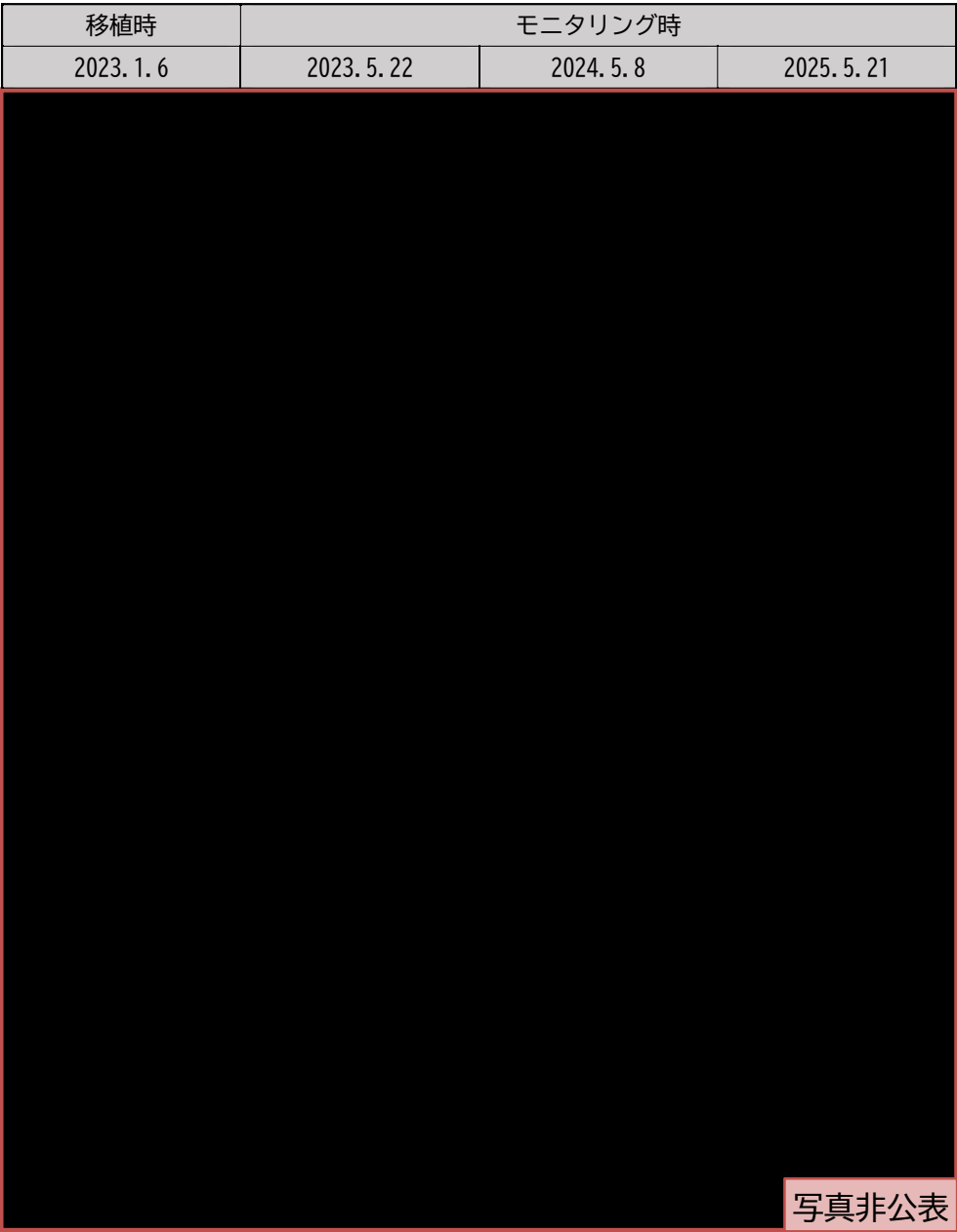
シランのモニタリング結果

移植先	移植株数 2023. 1. 5-6	モニタリング時			
		2023. 5. 22	2024. 5. 8	2025. 5. 21	
		株数	株数	株数	生残率(%)
S-1	50	49	49	48	96.0
S-2	20	19	18	18	90.0
S-3	66	62	61	57	86.4
S-4	13	13	12	13	100.0
合計	149	143	140	136	91.3

■ 移植株数(2023.1.5-6) ■ モニタリング時 2023.5.22 株数
■ モニタリング時 2024.5.8 株数 ■ モニタリング時 2025.5.21 株数



シランのモニタリング結果



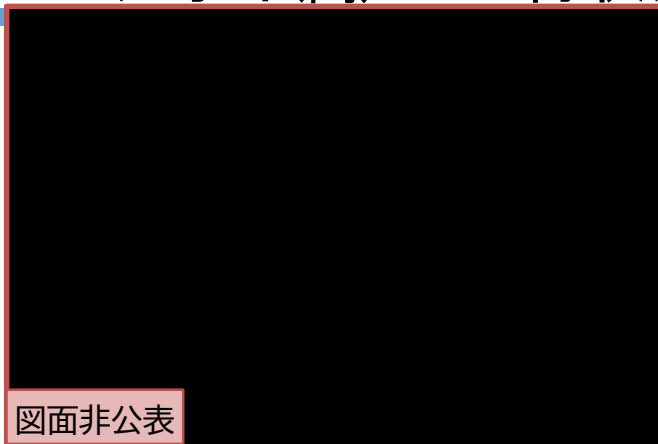
写真非公表

⑥植物—移植個体以外の重要な植物

(ヒナラン・カンアオイ属)の生育状況調査—

■ヒナランのモニタリング調査

- ・ ヒナランを101株確認した。
- ・ 多くの花茎が立ち上がり、蕾も付けていたため、良好な生育状況にあると言える。



図面非公表

ヒナラン・カンアオイ属確認位置図

■カンアオイ属のモニタリング調査

- ・ カンアオイ属を32株確認した。
そのうち2株は開花しており、花の構造からサカワサイシンと同一とした。
- ・ 株数が多く、開花している株も確認でき、良好な生育状況にあると言える。

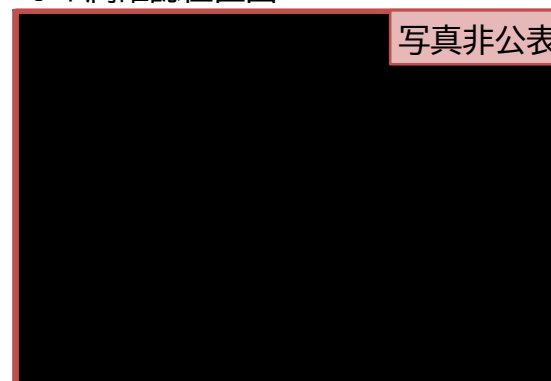


写真非公表

ヒナランの遠景(令和7年4月30日撮影)



ヒナランの生育状況(令和7年4月30日撮影)



写真非公表

カンアオイ属の遠景(令和7年4月30日撮影)



カンアオイ属の生育状況(令和7年4月30日撮影)



写真非公表

ヒナランの遠景(令和7年5月21日撮影)



ヒナランの生育状況(令和7年5月21日撮影)



写真非公表

カンアオイ属の遠景(令和7年5月21日撮影)



カンアオイ属の生育状況(令和7年5月21日撮影)

⑥植物—特定外来生物（植物）—

■特定外来生物（植物）の把握

- ・ 2025年5月21日に工事箇所周辺を踏査した結果、工事箇所周辺に特定外来生物（植物）の侵入・繁茂は確認されなかった。
- ・ 同様の調査を9月（ナルトサワギク、アレチウリ等の確認適期）にも実施する予定である。



特定外来生物（植物）調査の踏査ルート図

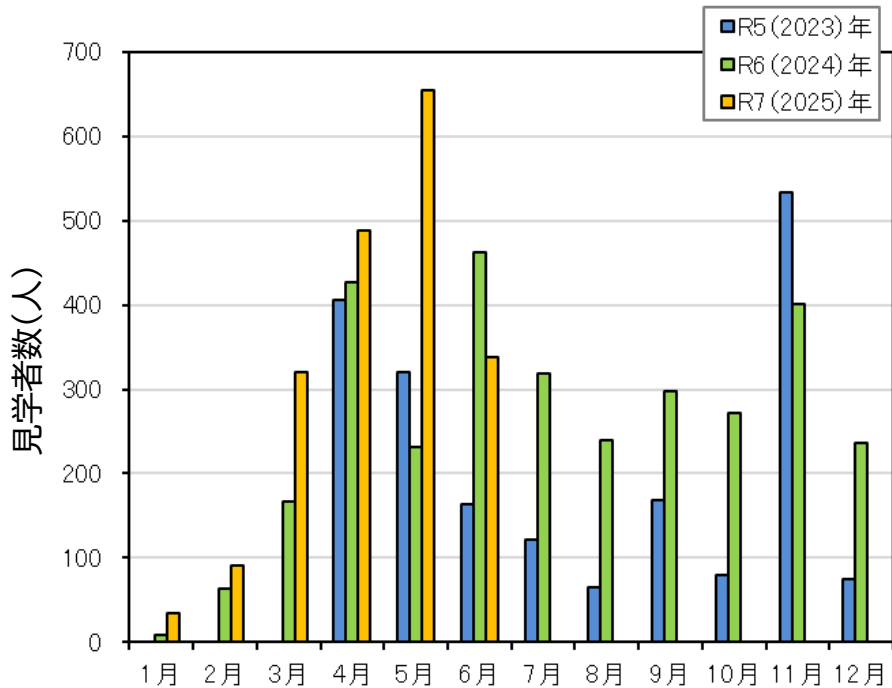
⑦人と自然との触れ合いの活動の場

■関係者と連携したインフラツーリズムの推進

- 香川県や観光協議会等と連携したダム見学会や、インフラツーリズムを継続的に実施している。

早明浦ダム見学者数(2023年～2025年)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	見学者数(人)
2023(R5)年				406	321	164	122	65	169	79	534	75	1935
2024(R6)年	8	63	167	427	231	462	319	240	297	272	401	237	3124
2025(R7)年	35	91	320	488	654	338							1588
見学者数(人)	8	110	228	1321	1206	964	441	305	466	351	935	312	6647



早明浦ダム見学者数(2023年～2025年)

【水源地学習会(香川県と連携)】

目的: 水の大切さやそれを守ってきた先人の苦勞の足跡を学ぶ機会の提供・水源地域の人々との交流
対象: 香川県内の小学4年生と中学1年生

年度	見学者	実施日	見学人数
2025 (R7)	三豊中学校	4月23日	121人
	綾川中学校	4月24日	217人
	満濃中学校	5月16日	166人
	高瀬中学校	5月21日	17人
	詫間小学校	5月23日	64人
	琴平中学校	6月4日	54人
	本山小学校	6月6日	25人
	南部小学校	6月10日	28人
	比地大小学校	6月12日	18人
	仁尾中学校	6月13日	43人
2025(R7)年度度計			753人

水源地学習会の開催実績(2025年度)

4月23日 三豊中学校 4月23日 三豊中学校 5月16日 満濃中学校

写真非公表 6月13日 仁尾中学校 6月13日 仁尾中学校

水源地学習会の様子

⑦人と自然との触れ合いの活動の場

【香川県の施設見学ツアー】

香川用水通水 50周年記念 施設見学バスツアー

香川用水の通水50周年を記念して、その恩恵に改めて感謝するため、水源地や身近な施設を見学するバスツアーを開催します。

水源地見学コース

8月17日(土)



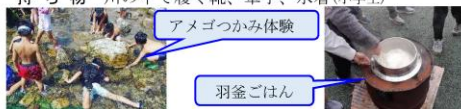
早明浦ダム

- 工事中の早明浦ダム見学
「四国のいのち」を見学しよう
- アメゴつかみ体験
水源の水に親しもう
- 羽釜ごはん&土佐あかうしBBQ
水源地の特産品を食べよう

水源地見学コース

実施日時 ①令和6年8月17日(土) (小雨決行)
予定行程 8:00 高松駅発(10〜15番のりば)
10:00 早明浦ダム
11:30 いしはらの里※
14:20 道の駅土佐さめうら(お買い物)
16:10 高松駅着

募集人員 44名 ※先着順
対象 小学生とその保護者
参加費 昼食: 3,500円/人、体験活動: 2,000円/人
持ち物 川の中で履く靴、軍手、水着(小学生)



アメゴつかみ体験

羽釜ごはん

※アメゴつかみ体験と昼食(羽釜ごはん&土佐あかうしBBQランチ)を予定
雨天時はアメゴつかみ体験が焼くバーベキューに変更

お問い合わせ

問合せ先 琴平バス株式会社
電話: 0877-73-3331
香川県政策部水資源対策課
電話: 087-832-3127
ホームページ 右のQRコード参照
県ホームページID: 47664

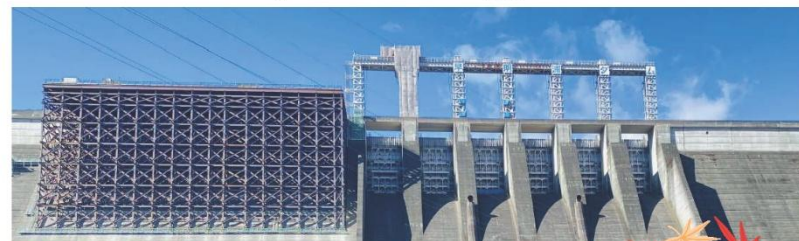


皆様のご参加を
お待ちしております!

水資源ファミリー

出典)「香川県庁ホームページ」
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/mizusigen/yosui/tsuusui50th/event02.html>

【土佐れいほく観光協議会の観光ツアー】



早明浦ダム&土佐あかうし

50年に1度の大規模工事見学

年間出荷頭数約550頭の和牛

満喫タクシーツアー

全コースに
再生工事中のダム見学と
土佐あかうし使用のランチが
含まれています!



JR 高知駅発着

今回限りのおトク価格!!



2024.11.9 土

紅葉の瀬戸川溪谷
アメガエリの満コース

旅行代金 お一人様
3,480円



2024.11.20 水

ダム+次世代園芸+
焼酎蒸留所
大人の社会見学コース

旅行代金 お一人様
6,200円



2024.11.30 土

国宝豊楽寺薬師堂
御開帳コース

旅行代金 お一人様
3,980円

各コースの詳細は裏面をご覧ください。

お申込用QRコード



<旅行企画・実施>
高知県知事登録旅行業第3-141号
一般社団法人土佐れいほく観光協議会

〒781-3601 高知県高知市山崎山崎582-2
電話: 0887-72-9400 (受付時間 8:30~17:15)
旅行業務取扱管理者: 松島 弘
※写真はイメージのため実際とは異なる場合があります

出典)「一般社団法人 土佐れいほく観光協議会」
<https://tosareihoku-kanko.com/taxitour2024/>

⑧環境巡視

・環境保全への取り組みについて、実施状況を確認するため、環境巡視を実施した。

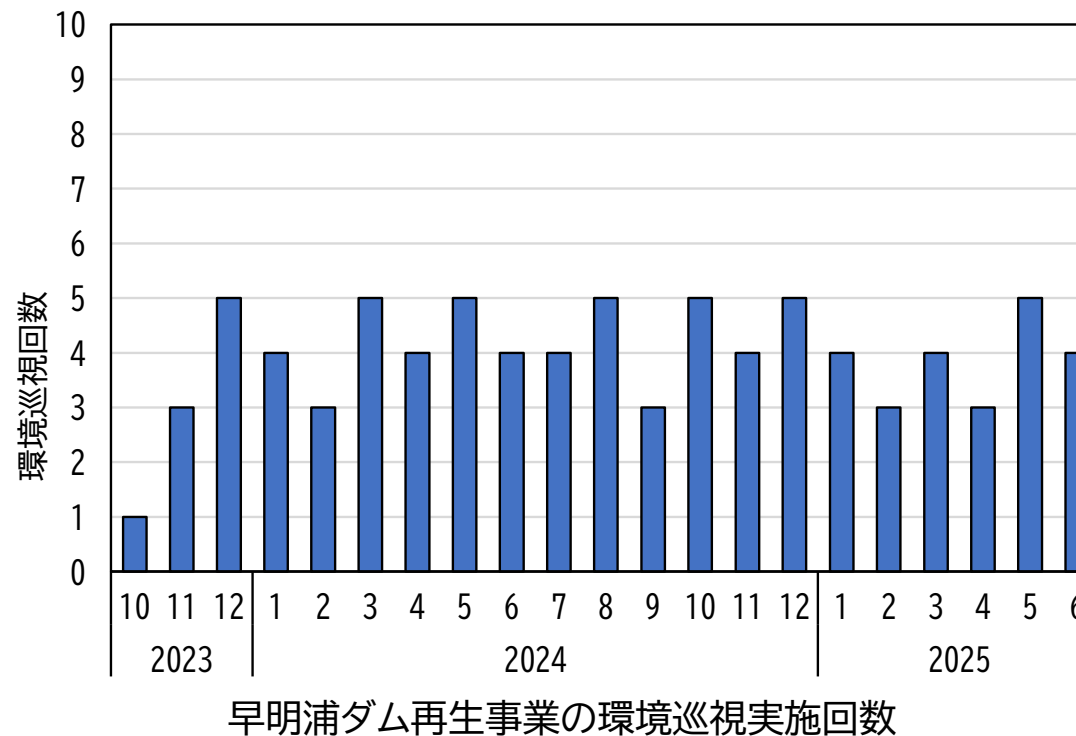
■環境巡視のチェック項目の例

環境保全措置			確認事項
建設機械の稼働 ・ 工事用車両の通行	大気質	散水	①粉じんの発生源(堤体削孔箇所等)への散水は行っていますか？
			②工事用道路1号線(骨材搬入路入口やや上流～2号ゲート)での散水活動は実施していますか？
			③県道17号線(2号ゲート～濁水処理装置、吉田橋手前3号ゲート出入口)での散水活動は実施していますか？
			④工事用道路3号～バッチャープラントまでの散水は行っていますか？
			⑤バッチャープラント周囲の散水は行っていますか？
			⑥工事用道路4号の散水は行っていますか？
		タイヤ洗浄	⑦タイヤ洗浄装置は、設置されていますか？
			⑧工事用車両・建設機械の洗浄は、実施していますか？
	騒音・振動	低騒音・低振動型建設機械の採用	使用している建設機械は、超低騒音・低騒音型建設機械ですか？ ※確認方法:ラベル(低騒音) ラベル(超低騒音)
		騒音抑制工法等の採用	①バッチャープラント、濁水処理装置の周囲に吸音パネルを設置していますか？
			②岩掘削作業には超低騒音ブラットアングリを用いた油圧ブレーカ、バブルブレイカーを併用していますか？
			③コンクリートミキサー車等の周囲には防音 TENT を設置していますか？
	水質	濁水処理の状況	濁水処理装置・処理水に異常はありませんか？
	共通	効率的な稼働	運搬車両が一箇所に集中しないように使用していますか？
		自動計測・電子掲示板	電子掲示板の計測値が基準値内ですか？(騒音85dB,振動75dB,SS25mg/L,pH6.5-8.5)
	動物・植物・生態系	生物に配慮した夜間照明	夜間照明器具はルーバー付き照明器具やLED照明を使用されていますか？
			照明角度は30°に制限されていますか？
		残存する生息・生育環境の攪乱に対する配慮	工事現場周辺の環境の攪乱に対する配慮が実施されていますか？
			ヒナランの生育地が保護されていますか？
			残置したカンアオイ類の生育が維持されていますか？

⑧環境巡視

■調査期間・時期

- ・調査期間は工事期間中とする。
 - ・原則として環境巡視は1ヵ月に1回実施。
- ※工事内容に応じて設定



■巡視結果

- ・環境巡視は、2023年10月から開始し、水資源機構の職員等により毎月実施している。
- ・チェック項目数は、工事の種類によって設定している。
- ・これまでの環境巡視において、工事の中断が必要となるような状況は確認されはなかった。

⑧環境巡視

■環境巡視結果(環境保全への取り組み状況)

大気質			騒音・振動	
散水車	タイヤ洗浄	道路清掃実施の確認	低騒音型建設機械の採用	騒音・振動の計測
 2025.3.6	 2025.3.19	 2024.12.12	 2025.4.18	 2024.11.21
水質			動物・植物・生態系	
濁水処理状況の確認 (pH・濁度計測)	濁水処理施設沈殿池	濁水処理装置	生物に配慮した夜間照明	
 2024.11.6	 2024.11.21	 2025.5.15	 LED照明 2025.2.6	 ルーパー付き照明 2025.2.21

⑧環境巡視

■環境巡視における主な指摘と対応

指摘	対応
・ミキサー車周囲に防音テントを設置していない。  2024.10.11	・是正されていることを確認した。  2024.11.06
・濁水処理装置の下部に汚泥が蓄積している。 ・大雨の時などに河川に流出の恐れあり。  2024.10.11	・清掃していることを確認した。  2024.10.31
・3号工事用道路の法面に設置している配水管が外れている。  2025.1.17	・修繕されていることを確認した。  2025.1.22

⑧環境巡視

■環境学習会の開催

- ・ 職員及び工事業者を対象とした環境学習会を開催し、環境保全対策の位置付けやフォローアップ調査への展開等の認識を共有した。



環境学習会の開催概要

開催日時	2025年1月24日(金) 13:30～15:00
場所	早明浦ダム管理所 ふれあいホール
参加者	水資源機構及び施工業者 (他事務所の職員はWEBで参加)
内容	13:30～ 「猛禽類の生態と水資源機構における猛禽類の保全対策」 14:00～ 「徳山ダム建設事業に係る環境保全対策(これまでの水資源機構の環境保全のあゆみ)」 【ビデオによる講演】 14:30～ 質疑応答
参加人数	計51名 ・職員27名(対面:15名、WEB参加:12名) ・工事業者24名(対面12名、WEB参加:12名)